

月刊
JMITU

オノノカ



1月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2017年発行

No.385

2017年景気回復

賃上げで消費拡大が急務

新しい年の経済が動き出しています。

大企業の儲けと近く発足するトランプ政権への「期待」を背景に株価は4日の大発会で大幅上昇しましたが、百貨店などの初売りで売り上げを、伸ばしているのは一部の高額品だといえます。

庶民にとっては、円安と原油価格高騰による物価の上昇が懸念される年明けです。

5年を迎えた安倍政権の経済政策「アベノミクス」は破綻しています。

賃上げで消費が拡大できるように、国民の暮らしを応援する経済政策が急務です。

悪化する賃金と消費

2人以上世帯の消費支出は

11月、前年同月に比べ1・

5%減少、事実上15か月連続

の落ち込み（「家計調査」）。消

費者物価も11月0・4%の下

落（生鮮食品除く）で、9カ月

連続の下落。完全失業率も11

月に3カ月ぶりに悪化（「労働

力調査」）。実質賃金は11月、

前年同月比0・2%減で11カ

月ぶりのマイナス（「毎月勤労

統計」）。昨年末から今年初めに

かけ発表された最新の経済統

計です。賃金など収入や消費の

落ち込みが深刻です。

日本経済は2008年の「リ

ーマン・ショック」のあと大幅に落ち込み、その後も停滞を続けてきましたが、その立て直しができないまま、新しい年を迎えました。

暮らしを応援する

対策が必要

安倍政権は「経済再生」を最優先課題に掲げ、「アベノミクス」と呼ぶ経済政策で経済を立て直すとしてきましたが、未だ実現できていません。

口を開けば「道半ば」だと主張し、新年の記者会見でも「本年も経済優先、デフレ脱却に向け金融政策、財政政策、成長戦略の3本の矢を打ち続ける」と言っています。

足掛け5年にもなるのに「道半ば」だというのはその道が間違っていたのではないのでしょうか。「アベノミクス」は大胆

な金融緩和が柱でしたが金融政策頼みは限界だという事を物語っています。

経済立て直し消費拡大で

安倍政権は経済の「好循環」実現を言い出し、財界・大企業に賃上げを促しています。

しかし大企業にため込みを辞めさせない限り賃上げや雇用の改善は望めません。

経済の立て直しには私たち労働者＝国民の消費が不可欠です。

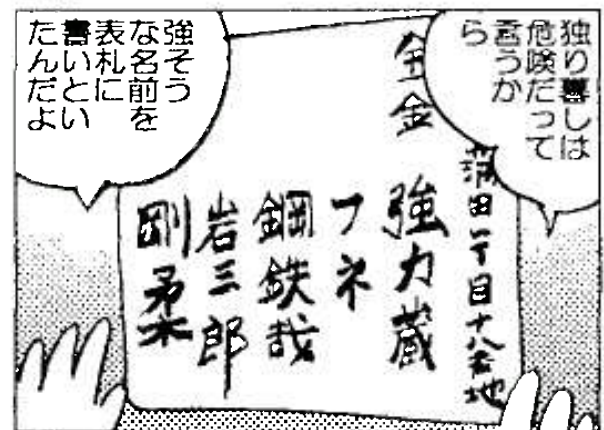
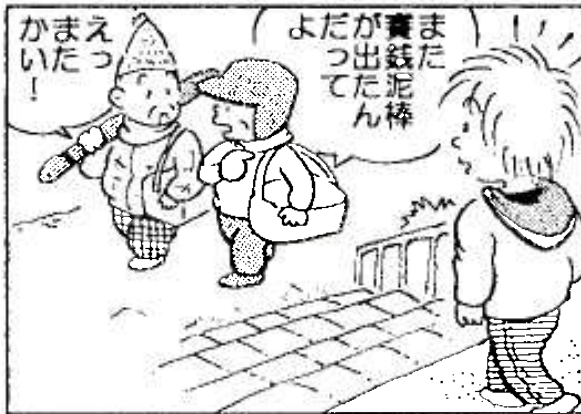
暮らしを直接応援する対策を強化し、税金の集め方と使い方の改革、働き方と産業構造の改革、格差と貧困を正し中間層に力をつける経済改革が急務で消費拡大こそ経済立て直しの近道です。

家計に余裕がなければものは買いませんよね。

4こま漫画



川崎よしき



ショートショート

正月休み

仙洞田一彦

正月は団地の庭に、東京以外のナンバーをつけた車が駐車される。ここに親が住んでいて「帰省」するのだろう。年末年始のテレビでおなじみの帰省による交通渋滞。ここでは東京から地方への帰省ではなく、地方から東京へと帰省の逆方向である。

暮れに、息子から電話があった。

「何日、空いている」と、わたしの予定を聞いた。

「空いているといえば、いつでも空いている。ふさがっているといえどもふさがっているから、そっちの都合に合わせて」と、答えた。別に

しゃれているわけではなく、原稿を仕上げなければならぬが、それが思うように進んでいないという事情があった。断ればいいのだが孫の顔も見たいし、一日くらいなら休んでも原稿は大丈夫だろうと思っていた。息子も嫁も働いているから、そちらにあわせる方が合理的だ。

「どうしようか」

息子が言った。つまり息子がこちらに来るか、わたしが出掛けるかということだ。これもわたしが出向く方が合理的だ。息子の家族は、息子と嫁さん、それに六年生、三年生、一年生と、一歳六カ月の子供の六人家族。車で来るとはいえ、支度は大変だろう。寒いから朝早く出るのは嫌だし、できれば日が暮れる前

に帰りたいとわがままを言った。それで十一時ごろ出て、一時半ごろ駅まで迎えに来てもらうことにした。大体去年と同じスケジュール。電車の乗り継ぎがうまくゆき、約束の時間より早く着いた。

去年の正月以来、一年ぶりに孫たちに会える。去年、息子は真ん中の二人を連れて、つまり一年前から二年生と小学校上がる前の娘を連れて同じ駅に迎えに来てくれた。

年々子供の成長とともに親との距離が変化する。無論わたしとの距離も含まれる。たんに駅まで迎えに行くということだけが、微妙にそれが出ると思う。それが成長というものだろうなどと考えていた。今年は何を連れてくるのか。大きくなれば自立し、祖

父の顔など早く見たところでしようがないと思うだろうし、他の遊びに夢中になっているかもしれない。一歳半の子は、嫁の手から離れないだろう。迎えに来るのは息子一人かもしれない。

ところが息子が一番小さいのを抱いて、後に三人が付いて来た。ここから呼び方を変えなければならぬ。息子がパパで、嫁がママと、孫が基準になる。わたしはジイジ。「ママの具合が悪くて、病院に行っているんだ」

パパが言った。それでみんな引き連れて来たのだ。途中で食事をして行こうということになった。

パパは、メニューを見たり子供の要求を聞いたりしながら、自分も含めて食べる量を

考えながら注文していた。食事は注文したものをそれぞれが食べるのではあるが、

「あれが欲しい」

「ちようだい」

「もう、いい」

などと言う子供の声で、器がテーブルの上であちちへ行ったたり、こつちへ来たりする。残ったものはパパが平らげる。一歳半は口の周りも手も汚れ放題である。わたしは食事をしたのか、しないのかはつきりしない感じだった。

これからケーキ屋さんに寄ってケーキを買い、家でみんなで食べようという予定だった。食事の終わりころ、ママからパパに電話があった。これから大きい病院に行ってもう一度診てもらった方がいい、ということだった。パパは緊

張した。近くの病院で診てもらったが、はつきりしないらしい。すぐ家に帰り、パパがママを車に乗せて大きな病院に連れて行かなければならない。ケーキはふいになってしまった。

ママはたしかに顔色も悪く、元気もない。あわただしく準備をして、車で出て行った。車で三十分以上かかるところに病院はある。一番小さいのはパパかママに抱かれたまま、ジイジが手をだしても抱かれるのを嫌がる。もつとも、置いていかれてもどうやって面倒見ればよいのか分からない。泣かれてしまったら、こちが泣きたくなる。上の孫三人と留守番。散歩したり、トランプをしたり、テレビを見たりしているうち、

外も暗くなり冷えてきた。パパから電話があった。入院の支度をしなければならぬし、時間ももつとかかりそうだからいったん帰る。子供も連れて来て、病院で待つという。

正月だからか、もともと人手不足なのか、やたら待たせる。診察は終わったが即入院ということ、入院手続きをしなければならぬが、受け付ける人の手が空くのを待っているということだった。

パパはママについている。一番小さいのが、広い病院のなかを好き勝手に歩き回る。目が離せないの、孫三人とジイジで後を付いて回る。インフルエンザの季節であるし、ノロウイルスも心配。待合室には、熱のせいで赤い顔をして見るからに苦しそうな人も

いるし、長椅子を占領し額に腕を乗せて横になっている人もいる。病院だから当たり前なのだが。小さいのを抱きとめて置けばいいのだが、泣き出しては困る。具合が悪く、長く待たされている患者は、子供の泣き声を聞いてイライラし、かんしゃくを起こすかもしれない。待合室から離れたところで待つ。上の子の六年、三年、一年も、一歳半の子の面倒見はいい。交代で後を付けて行き、適当なところで抱いて引き上げてくる。しかしまだ小学生、何かあっては困る。最年長者としてジイジの責任は重い。それなのに一歳半は、抱き上げられて戻されるのが面白いのか、遠慮がない。その後、三、四日、肩や首筋が痛んだ。

2017年 春闘準備開始

春闘要求

皆さんの要求、春闘アンケートに回答を！

経団連は17日、2017年春闘の経営側の交渉指針「経営労働政策特別委員会報告」（経労委報告）を発表しました。

電通新入社員の過労自殺などを機に働き方改革の機運が高まり、改革に関する記載を増やしました。

具体策として、各社に年次有給休暇（年休）の取得促進や長時間労働は正の数値目標を掲げるよう要請。特に年休は「100%取得を目標に取り組みべきだ」とした。

賃金交渉では4年連続となる賃上げを呼びかけました。非正規従業員の待遇改善や正社員化、配偶者手当の見直し検討も求めました。

賃金は労働者の生計費 利益の分け前ではない

しかし財界は、経営環境悪化を強調し、『定昇・ベア、賞与、手当での見直し』として、賃上げは企業業績と連度ししやすいインセンティブや手当での引き上げで対応する方針です。

私達労働者は、年々『生活悪化』しているのは事実です。

賃金は労働者の生計費、企業利益の分け前ではありません。働き続ける生活をまかなえる賃金、次世代労働者育成のためにも結婚・子育てできる家族の生活費、仕事が十分できる教育訓練費用などが、まかなえないければなりません。

私達労働組合JMIITUでは、今春闘も賃上げはもちろん、夏季一時金、その他の諸要求を今まで通り会社に対し要求をしていきます。

4年前から報酬比例部分（およそ7〜8万円）の支給も延ばされ、今年4月2日以降60歳となる人は63歳になるまで3年間も「年金ゼロ」となりません。雇用延長で働いても、6割の給料では、生活することができません。

育児や介護の休暇についても、法律の範囲内で最低ラインの対応ではなく、時間で有給が取得できるなど、よりいい条件になるよう要求していきます。

その他、皆さんの要求についてもぜひアンケートに御回答下さい。会社に対し要求していきます。

下記、ホームページにて春闘アンケート始めました。

無記名ですのでお気軽に御回答下さい。



セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>